

- 問1 大化の改新以降、8世紀初頭にかけて整備された律令制度の目的と内容について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 欧米の近代的な憲法を手本に、議會を開設することで、国民が政治に参加する仕組みをつくること。 | 2. 武家社会の慣習をもとに、御成敗式目を制定することで、武士による裁判の基準を明確にすること。 | 3. 大名を統制するために武家諸法度を定め、幕藩体制による安定した政治を実現すること。 | 4. 唐の法律を参考に、刑罰や政治の仕組みを整えることで、天皇を中心とする中央集権的な国家をつくること。 |
|--|--|---|--|
- 問2 奈良時代、朝廷が東北地方の支配を広げるために、現在の宮城県に設置した行政と軍事の拠点として正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 安土城 | 2. 大宰府 | 3. 多賀城 | 4. 国分寺 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 律令制下で作成された戸籍において、「筑前」という広域の区分の後に空欄A、「嶋」というその下位の区分の後に空欄B、「戸翻川」というさらに下位の区分の後に空欄Cが続く記述形式が見られる場合、A・B・Cに当てはまる地方行政区分の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. A:国 B:郡 C:里 | 2. A:藩 B:郡 C:村 | 3. A:道 B:府 C:県 | 4. A:国 B:里 C:郡 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
- 問4 飛鳥時代から奈良時代にかけて整備された律令国家の税制のうち、収穫高そのものではなく「口分田の面積」を基準として課され、収穫した稲を地方の倉庫に貯蔵することが義務付けられていた税はどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|
| 1. 絹や糸、または地方の特産物を納める調 | 2. 地方の国司のもとで年間60日を限度に働く雑徭 | 3. 都での労役の代わりに布を納める庸 | 4. 班田収授法によって与えられた土地に課される租 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|
- 問5 律令制のもとで、正丁（成人男子）に課された税のうち、都へ赴いて年間10日間働く「歳役」という労役の代わりに、布を納めることとされたものを何といいますか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 租 | 2. 雑徭 | 3. 調 | 4. 庸 |
|------|-------|------|------|
- 問6 奈良時代、西アジアやインドを起源とする国際色豊かな文化や宝物が、中国大陸での交易を経て日本へもたらされました。これら多くの宝物が現在まで良好な状態で収められている正倉院の品々に見られるような、内陸アジアや西アジアとのつながりを示す陸上の交易路を何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|-----------|----------------|
| 1. 茶馬古道（ちゃばごどう） | 2. スパイスルート（香辛料の道） | 3. アッピア街道 | 4. シルクロード（絹の道） |
|-----------------|-------------------|-----------|----------------|
- 問7 8世紀の日本の特色をまとめた記述において、当時の文化は「大陸の影響を受けた国際色豊かな文化」と表現されます。この文化を象徴する正倉院に収蔵されている宝物の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 平安京への遷都以降に発達した、日本独自の風土や感覚に基づいた品々 | 2. 禅宗の影響を受け、武士の精神性を反映した簡素で力強い品々 | 3. ヨーロッパからの宣教師によってもたらされた、活版印刷機やキリスト教関連の品々 | 4. ペルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問8 奈良時代の8世紀半ば、聖武天皇が多額の費用と労働力を投じて大仏の造立や国分寺の建立を進めた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 他国からの軍事的侵略を防ぐため、寺院を軍事的な要塞として利用するため | 2. 急速に普及していたキリスト教に対抗し、日本の伝統的な神道を保護するため | 3. 仏教を国家の教えとして広めることで、疫病や社会不安による混乱を鎮めるため | 4. 有力な貴族たちの財産や権力を抑制し、天皇による独裁体制を強化するため |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
- 問9 防人として九州へ派遣された兵士たちが、故郷や家族を思って詠んだ歌が収められている、日本最古の和歌集を次から選びなさい。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|
| 1. 古今和歌集 | 2. 新古今和歌集 | 3. 日本書紀 | 4. 万葉集 |
|----------|-----------|---------|--------|
- 問10 ある天皇が発した命令文の中で、「人々の救済や仏教を盛んにするために、金銅の大仏を一体造る。このことを全国に知らせ、私の気持ちを皆に知ってほしい」という趣旨の内容が記されています。この命令を出した、東大寺の大仏造立を命じた人物は誰ですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天武天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 大宝律令の制定によって確立された「公地公民」の原則に基づき、当時の人々の生活や税制について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 検地を行い、農地を実際に耕している農民を土地の所有者として認め、地租を課した。 | 2. 有力な農民に名主としての権利を認め、年貢の納入を請け負わせる名主制を導入した。 | 3. 戸籍を作成して人々に口分田を与え、代わりに租・庸・調などの税を課した。 | 4. 大名に参勤交代を義務付け、その領地で収穫される米の量を石高として登録した。 |
|--|--|--|--|
- 問12 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、大伴家持が編纂に関わったとされる作品を次から選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|
| 1. 新古今和歌集 | 2. 古今和歌集 | 3. 懐風藻 | 4. 万葉集 |
|-----------|----------|--------|--------|
- 問13 奈良時代の平城京には、律令制度に基づいて地方から多くの物資が運び込まれました。当時の税制度である「租・庸・調」のうち、都での労働の代わりに布を納める「庸」や、地方の特産物を納める「調」が都に運ばれた実態について、正しい説明を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 輸送中の盗難を防ぐため、すべての物資は海路を使って瀬戸内海経由で運ばれた。 | 2. 都の役人が地方へ向向き、それぞれの村で物資を回収して都へ持ち帰っていた。 | 3. これらの税はすべて、九州の防衛を担当していた防人の給与として直接送られていた。 | 4. 農民は、都まで自分たちの足で重い荷物を運ぶという大変な負担を負っていた。 |
|--|---|--|---|
- 問14 古代の日本で行われた「口分田」をめぐる仕組みについて、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸時代の村において、名主・組頭・百姓代といった村役人が中心となって、年貢のとりまどめを行った土地である。 | 2. 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。 | 3. 明治時代の地租改正において、地価を記した地券を交付することで土地の所有権を認め、金納の義務を課した。 | 4. 室町時代に農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織をつくり、村の共有地として共同で管理・運用した。 |
|--|--|---|---|